

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成29年7月14日

【四半期会計期間】 第52期第1四半期(自平成29年3月1日至平成29年5月31日)

【会社名】 エスフーズ株式会社

【英訳名】 S Foods Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 村上真之助

【本店の所在の場所】 兵庫県西宮市鳴尾浜1丁目22番13

【電話番号】 (0798)43局1065番

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理本部長 安岡信幸

【最寄りの連絡場所】 兵庫県西宮市鳴尾浜1丁目22番13

【電話番号】 (0798)43局1065番

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理本部長 安岡信幸

【縦覧に供する場所】 エスフーズ株式会社東京支店
(千葉県船橋市浜町3丁目2番3)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第51期 第1四半期 連結累計期間	第52期 第1四半期 連結累計期間	第51期
会計期間	自 平成28年3月1日 至 平成28年5月31日	自 平成29年3月1日 至 平成29年5月31日	自 平成28年3月1日 至 平成29年2月28日
売上高 (百万円)	68,520	75,309	281,233
経常利益 (百万円)	2,511	2,860	10,843
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	1,325	2,163	6,499
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	3,237	3,119	10,482
純資産額 (百万円)	57,556	72,776	64,524
総資産額 (百万円)	125,057	145,090	134,271
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	47.32	75.36	232.09
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	41.92	68.44	205.61
自己資本比率 (%)	42.0	46.3	44.1

(注) 1. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結会計期間における日本の経済は、企業部門では好調な輸出を背景に緩やかな回復基調を示しておりましたが、家計部門では賃金の伸び悩みなどにより一進一退で力強さに欠ける状況となりました。当食肉業界においては、消費者マインドの回復がなかなか進まないことから、経営環境は厳しさを増しております。このような状況のもと、当社グループは、グループ企業間の協力・協同関係を強化することにより、商品ラインの充実や新製品開発、顧客ベースの拡大に取り組みました。

食肉等の製造・卸売事業においては、当社グループの中核事業であり、特に家畜の生産や一次加工を担う川上部門は競争力の源泉と捉え、効率的な事業運営を継続することを目指しております。また、当社の代表ブランドである「こてっちゃん」については、焼肉シーズンの到来に合わせて主要都市を中心にテレビCMを投入し、販売促進を進めました。さらに、首都圏での営業力強化を図るため千葉県船橋市で製造・卸・流通機能を統合した拠点開発を進めております。

食肉等の小売事業においては、イベント型の提案販売や、レイアウト再構築等の既存店活性化を継続実施した他、生産性向上のために作業工程の見直し、適正な人員配置のためのシフトコントロールを強化しました。また既存店の改装や不採算店の閉鎖、新規ディベロッパーとの取組による新店開発や、新業態での新規出店等、各種施策を推進しました。

食肉等の外食事業においては、ステーキレストランチェーン事業及び焼肉・しゃぶしゃぶチェーン事業において、メニューの考案や不採算店対策等、競争力向上のための施策を実施しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高753億9百万円（前年同四半期比9.9%増）、営業利益27億5千5百万円（前年同四半期比14.9%増）、経常利益28億6千万円（前年同四半期比13.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益21億6千3百万円（前年同四半期比63.3%増）となりました。

続いて、セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載し、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

食肉等の製造・卸売事業

売上高は675億3千4百万円（前年同四半期比11.4%増）、セグメント利益は25億6千5百万円（前年同四半期比22.7%増）となりました。

食肉等の小売事業

売上高は55億3千7百万円（前年同四半期比1.5%減）、セグメント利益は3億5百万円（前年同四半期比29.7%減）となりました。

食肉等の外食事業

売上高は19億2千1百万円（前年同四半期比0.3%減）、セグメント利益は1億7千3百万円（前年同四半期比15.7%増）となりました。

その他

売上高は3億1千6百万円（前年同四半期比8.8%減）、セグメント利益は2千7百万円（前年同四半期比22.3%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて108億1千8百万円増加し、1,450億9千万円となりました。これは主に、売上高増加に伴う売上債権の増加、たな卸資産の増加、土地の増加及び投資有価証券の増加によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて25億6千7百万円増加し、723億1千3百万円となりました。これは主に、売上高増加に伴う仕入債務の増加、借入金の増加及び新株予約権付社債の転換による社債の減少によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて82億5千1百万円増加し、727億7千6百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加、新株予約権付社債の転換による資本剰余金の増加及び自己株式の減少によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の当社グループが支出した研究開発費の総額は5千9百万円であります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	120,000,000
計	120,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成29年5月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成29年7月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	32,267,721	32,267,721	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	32,267,721	32,267,721	-	-

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成29年5月31日	-	32,267,721	-	4,298	-	11,881

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成29年2月28日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成29年2月28日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	（自己保有株式） 普通株式 4,186,100	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 28,065,900	280,659	-
単元未満株式	普通株式 15,721	-	-
発行済株式総数	32,267,721	-	-
総株主の議決権	-	280,659	-

（注）「単元未満株式」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が220株含まれております。

【自己株式等】

平成29年2月28日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
（自己保有株式） エスフーズ株式会社	兵庫県西宮市鳴尾浜 1丁目22番13	4,186,100	-	4,186,100	12.97
計		4,186,100	-	4,186,100	12.97

（注）当第1四半期会計期間末日（平成29年5月31日）現在の自己株式は1,911,813株であります。

2 【役員 の 状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成29年3月1日から平成29年5月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成29年3月1日から平成29年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,445	34,528
受取手形及び売掛金	27,238	31,658
商品及び製品	13,644	16,904
仕掛品	896	923
原材料及び貯蔵品	2,544	2,781
その他	3,157	3,587
貸倒引当金	157	173
流動資産合計	83,769	90,211
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	34,699	35,559
減価償却累計額	21,224	21,592
建物及び構築物(純額)	13,474	13,966
土地	11,067	13,525
その他	26,118	25,894
減価償却累計額	18,120	18,476
その他(純額)	7,997	7,417
減損損失累計額	1,459	1,462
有形固定資産合計	31,080	33,447
無形固定資産		
のれん	5	207
その他	406	400
無形固定資産合計	412	607
投資その他の資産		
投資有価証券	16,432	17,693
退職給付に係る資産	315	314
その他	2,461	3,018
貸倒引当金	201	203
投資その他の資産合計	19,009	20,823
固定資産合計	50,501	54,878
資産合計	134,271	145,090

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,947	26,565
短期借入金	5,281	6,364
未払法人税等	2,040	1,039
賞与引当金	884	1,193
その他	8,301	8,724
流動負債合計	38,455	43,887
固定負債		
社債	8,814	4,004
長期借入金	15,172	16,865
役員退職慰労引当金	315	320
退職給付に係る負債	2,021	2,105
その他	4,966	5,131
固定負債合計	31,290	28,426
負債合計	69,746	72,313
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,298	4,298
資本剰余金	12,120	16,233
利益剰余金	37,935	39,593
自己株式	2,936	1,341
株主資本合計	51,417	58,783
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,170	8,083
繰延ヘッジ損益	20	2
為替換算調整勘定	613	402
退職給付に係る調整累計額	66	29
その他の包括利益累計額合計	7,736	8,453
非支配株主持分	5,369	5,538
純資産合計	64,524	72,776
負債純資産合計	134,271	145,090

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

	(単位：百万円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)
売上高	68,520	75,309
売上原価	58,350	63,855
売上総利益	10,169	11,454
販売費及び一般管理費	7,770	8,698
営業利益	2,399	2,755
営業外収益		
受取利息	9	11
受取家賃	34	34
受取配当金	14	16
持分法による投資利益	37	2
その他	159	161
営業外収益合計	256	226
営業外費用		
支払利息	51	50
為替差損	63	-
賃貸原価	8	34
その他	19	37
営業外費用合計	143	122
経常利益	2,511	2,860
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	-	31
厚生年金基金解散損失引当金戻入額	25	-
特別利益合計	25	33
特別損失		
固定資産処分損	20	21
減損損失	5	0
店舗閉鎖損失	0	5
特別損失合計	25	27
税金等調整前四半期純利益	2,512	2,865
法人税等	972	475
四半期純利益	1,539	2,389
非支配株主に帰属する四半期純利益	214	226
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,325	2,163

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)
四半期純利益	1,539	2,389
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,205	921
繰延ヘッジ損益	0	22
為替換算調整勘定	517	194
退職給付に係る調整額	14	42
持分法適用会社に対する持分相当額	3	16
その他の包括利益合計	1,698	729
四半期包括利益	3,237	3,119
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,008	2,880
非支配株主に係る四半期包括利益	229	239

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日至平成29年5月31日)
税金費用の計算	当社及び一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

当第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日至平成29年5月31日)
「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

保証債務

連結会社以外の会社等の金融機関からの借入に対して、次のとおり債務保証(連帯保証)を行っております。

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
株式会社カーサ	210百万円	株式会社カーサ 205百万円
有限会社すぎもとファーム	66百万円	有限会社すぎもとファーム 64百万円
株式会社遠野牧場	583百万円	株式会社遠野牧場 560百万円
マスターファーム株式会社	74百万円	マスターファーム株式会社 68百万円
株式会社日高はなはなファーム	506百万円	株式会社日高はなはなファーム 506百万円
株式会社豊頃中央牧場	630百万円	株式会社豊頃中央牧場 630百万円
株式会社十勝中央牧場	730百万円	株式会社十勝中央牧場 730百万円
S FOODS SINGAPORE PTE.LTD.	184百万円	S FOODS SINGAPORE PTE.LTD 184百万円
WANG FOONG FOODSTUFFS SUPPLIERS PTE LTD	368百万円	WANG FOONG FOODSTUFFS SUPPLIERS PTE LTD 368百万円
金丸 一男他2社	164百万円	金丸 一男他2社 164百万円
計	3,517百万円	計 3,482百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日至平成28年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日至平成29年5月31日)
減価償却費	711百万円	742百万円
のれん償却額	2百万円	11百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成28年3月1日至平成28年5月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年5月24日 定時株主総会	普通株式	448	16.00	平成28年2月29日	平成28年5月25日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年5月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年5月23日 定時株主総会	普通株式	505	18.00	平成29年2月28日	平成29年5月24日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

当第1四半期連結累計期間において、平成32年満期の第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の転換に伴い、資本剰余金が4,112百万円増加し、自己株式を1,595百万円処分しております。この結果、当第1四半期連結会計期間末の残高は、資本剰余金が16,233百万円、自己株式が1,341百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成28年3月1日至平成28年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	食肉等の 製造・卸売事業	食肉等の 小売事業	食肉等の 外食事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	60,621	5,624	1,926	68,172	347	68,520	-	68,520
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,076	36	77	2,190	32	2,223	2,223	-
計	62,698	5,661	2,003	70,363	380	70,743	2,223	68,520
セグメント利益	2,090	435	150	2,675	34	2,710	311	2,399

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び不動産事業等であります。

2. セグメント利益の調整額 311百万円には、セグメント間取引消去 34百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 277百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	食肉等の 製造・卸売事業	食肉等の 小売事業	食肉等の 外食事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	67,534	5,537	1,921	74,993	316	75,309	-	75,309
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,188	35	94	2,318	40	2,358	2,358	-
計	69,722	5,573	2,015	77,311	357	77,668	2,358	75,309
セグメント利益	2,565	305	173	3,044	27	3,072	316	2,755

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び冷蔵倉庫業等であります。

2. セグメント利益の調整額 316百万円には、セグメント間取引消去 32百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 283百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	47.32円	75.36円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (百万円)	1,325	2,163
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(百万円)	1,325	2,163
普通株式の期中平均株式数(株)	28,001,947	28,710,047
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	41.92円	68.44円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 (百万円)	0	0
(うち支払利息(税額相当額控除後)(百万円))	(0)	(0)
普通株式増加数(株)	3,591,380	2,888,558
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年 7月13日

エスフーズ株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 浅井 愁 星 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 溝 静 太 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているエスフーズ株式会社の平成29年3月1日から平成30年2月28日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成29年3月1日から平成29年5月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成29年3月1日から平成29年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、エスフーズ株式会社及び連結子会社の平成29年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。